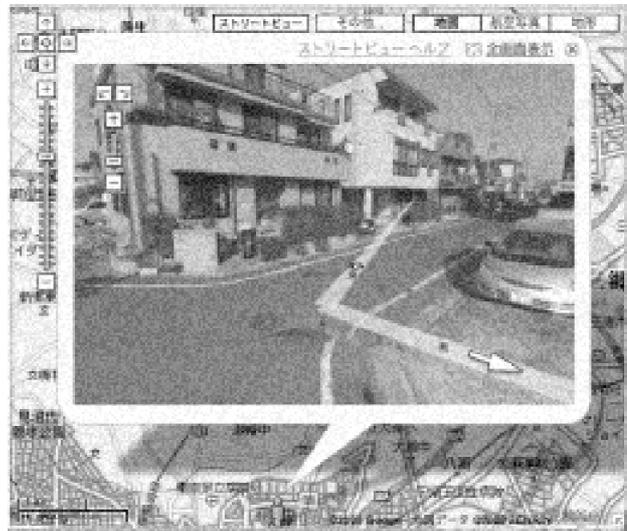


プライバシー侵害・犯罪助長しかねない Googleストリートビュー ってなんだ!?

Google マップ日本版に「ストリートビュー」機能が加わった。これは道路に立った目線で地図の街並みを表示できるサービスで、米国では2007年5月から提供されていた。日本語版のストリートビューは、東京、大阪、兵庫、仙台市などに対応している。

右の写真のように町並みや車、通行人などが見え、ストリートビュー画面内でズームしたり、左右に360°振り向いたりもできる(実際はカラーで鮮明)。



どんな良いことがあるの?

1. **実用性**：目的地の下見に利用する。地図だけでは住所に行き着くのは困難でも、画像によって情報を補完することができる。

2. **娯楽性**：家にいながらさまざまな都市の街歩きを楽しめる。例えば、大阪にいながら新宿の街並みを楽しむことができるし、東京にいながらパリの街並みを楽しむこともできる。

——など、ちょっと便利で楽しい機能。

じゃあ何が問題なの?

1. 犯罪に利用される可能性がある

- ・ ネットで簡単に現場の下調べを行え、犯罪を容易にする。例えば、空き巣犯なら、家の構造(侵入経路・逃走経路の研究など)、どの家をターゲットとするのがよいか(例えば、大きな庭があるか、外車があるか、などの生活水準)を判断する有効な手立てになる。
- ・ 性犯罪者が気に入った人間をネット上で見つけ、その者の住まいや住所を特定することが可能に。

「侵入犯罪に使われる可能性は十分にある。侵入しやすい地域や逃げ道がある程度把握することができる。(侵入犯にとって)物色するには便利だ」——東京防犯センター 齊藤広明代表

2. プライバシーを侵害している可能性がある

- ・ 個人情報特定の手がかりになる。顔や車のナンバーがモザイクで隠れていても、特定しうることも。
- ・ ネットオークション利用者が、自宅を画像で特定されてしまう。
- ・ テレビ局の取材を受け、放映された犯罪被害者の自宅の映像などから、被害者の住所を特定し不特定多数の人間に公開することが可能。また、未成年の犯罪者の住所なども特定すること可能になる。
- ・ 不特定多数の人間に自宅を晒されているという不快感がある。

——など、メリットを上回る深刻なデメリットがある。

では、どうしたらいい?

- ・ まずは、**自宅の写真削除**をようグーグル社に要求を出す。最低限の自衛手段です。
- ・ **広める**。自分の家が世界中に公開されている事実を知らない人に連絡してください。

削除要請の仕方やそのほかの対策などをまとめた

「Googleのストリートビュー機能はプライバシー侵害だと思います」

というサイトがあります。

http://www36.atwiki.jp/against_streetview/

にアクセスするか、「ストリートビュー 反対」で検索してみてください。